

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 5 日 (2020.11.5)

【公開番号】特開 2019-60706 (P2019-60706A)

【公開日】平成 31 年 4 月 18 日 (2019.4.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-015

【出願番号】特願 2017-185200 (P2017-185200)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2018.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/574 Z N A D

G 0 1 N 33/574 A

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 15/00 G

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 Q 1/68 A

C 0 7 K 14/47

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 15 日 (2020.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

< 実施例 3 >

《PRDM14 遺伝子の発現量と相関するバイオマーカーの同定》

PRDM14 遺伝子の発現量と相関するバイオマーカーの同定に係る一連のスクリーニング方法を図 6 に模式的に概説する。まず、1 次スクリーニングにおいて、29 例の乳がん臨床組織に対し、マイクロアレイによる網羅的な遺伝子発現情報を夫々解析し、乳がんにおいて高頻度（約 60%）に遺伝子増幅していると発見した PRDM14 遺伝子の発現量と（1）相関係数 0.7 以上の関連を示し、（2）回帰直線の傾きが 0.5 ~ 2.0、（3）データベース上、分泌タンパクであることが知られている、（4）ELISA キットが入手可能という条件で候補分子を絞った後、2 次スクリーニングにおいて、別の 50 例の乳がん臨床組織に対するマイクロアレイによる網羅的な遺伝子発現情報を用いる再現性検証を実施した結果、LEPR は、PRDM14 遺伝子の発現量と相関することが判明した。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

また、1 次スクリーニングの後に、別の観点、すなわち、血清タンパク質のスクリーニングツールであるサスペンションアレイに搭載可能な分泌タンパクの中から、PRDM14 発現量と強い相関をもつ上位 38 タンパクにつき検討した結果、MDC および IFN が PRDM14 遺伝子の発現量と相関することが判明した。